



作成日 2010/08/18
改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 網状ルーフィング(GHS)
 製品コード CE-F02-1294
 供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
 住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
 電話番号 03-5419-6206
 FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)
 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

警告
 H320 眼刺激
 H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ

注意書き 予防策

眼、皮膚、衣類に付けないこと。(P262)
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

保管 廃棄

換気の良い場所で保管すること。(P403)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
石油アスファルト	55～65%	不明	(9)- 1719,(9)- 1721	公表	64742-93-4
その他	35～45%	不明			

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び アスファルト(法令指定番号:11の3)
有害物(法第57条の2、施行令
第18条の2第1号、第2号別表

4. 応急措置
- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚を速やかに洗浄すること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置
- 消火剤 粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤 棒状注水。
特有の危険有害性 アスファルトが火災で熔融した場合、それから発生するガスに硫化水素、一酸化炭素等が含まれている場合がある。
- 特有の消火方法 火元の燃焼源を断つ。
関係者以外は立ち入りを禁止する。
初期火災には泡、粉末、炭酸ガス消火器等を用い、大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する措置をとる。
- 消火を行う者の保護 消火作業の際は、防火用の保護眼鏡、保護手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用し、風上から消火する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材 漏出の可能性がないため、特に無し。
漏出の可能性がないため、特に無し。
製品漏出の可能性はないが、切れ端などは適切な容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い 技術的対策 情報なし
安全取扱注意事項 取扱い後は手を洗う。
重量物の取り扱い上の一般的注意事項を遵守すること。
カッターで裁断する場合は、切創防止の保護手袋を着用する。

保管	安全な保管条件	直射日光、高温、多湿を避け、換気の良い場所に保管する。
	安全な容器包装材	情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
アスファルト	未設定	未設定	TWA 0.5mg/m3

設備対策 保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	取扱いは換気の良い場所で行う。 取り扱い時の状況に応じて、必要の場合は保護マスクを着用する。 適切な手袋を着用すること。 取扱い時の環境や状況等、必要に応じて保護眼鏡等を着用する。 適切な保護衣を着用すること。
-------------	---	---

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態 形状 色	固体 固体(シート) 黒色 微臭
臭い		データなし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		260°C (セタ密閉式)
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		約1.0
溶解度		水に不溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		発火点 約480°C(石油アスファルト)
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	常温、常圧の下では安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	燃焼の際には、煙、一酸化炭素、硫化水素、亜硫酸ガス等を生成する。

11. 有害性情報

アスファルトとして

急性毒性(経口)	ラットLD50:>5000mg/kg
急性毒性(経皮)	ウサギLD50:>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	軽度の刺激性あり
呼吸器感作性	皮膚感作性:陰性(モルモット)
皮膚感作性	皮膚感作性:陰性(モルモット)
発がん性	IARC/グループ3
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	呼吸器への影響が認められている
吸引性呼吸器有害性	動粘性率: ≥ 8000mm ² /s

12. 環境影響情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器・包装・ダンボールは再生業者に委託する。紙類は一般廃棄物として処理できるが、各市町村の指示に従う。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	Not applicable

国内規制

航空規制情報	該当しない
陸上規制	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

消防法

指定可燃物、可燃性固体類

海洋汚染防止法

油(施行規則第2条)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

平成29年8月3日、労働安全衛生法施行令別表第九にアスファルトの追加が公布されました。平成30年7月1日より施行され、この物質及びこれを据切値以上含む混合物については、職場でのラベル表示、SDS交付及びリスクアセスメントが義務付けられます。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り図を対象としたものですので、特別な見取り図をする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。